

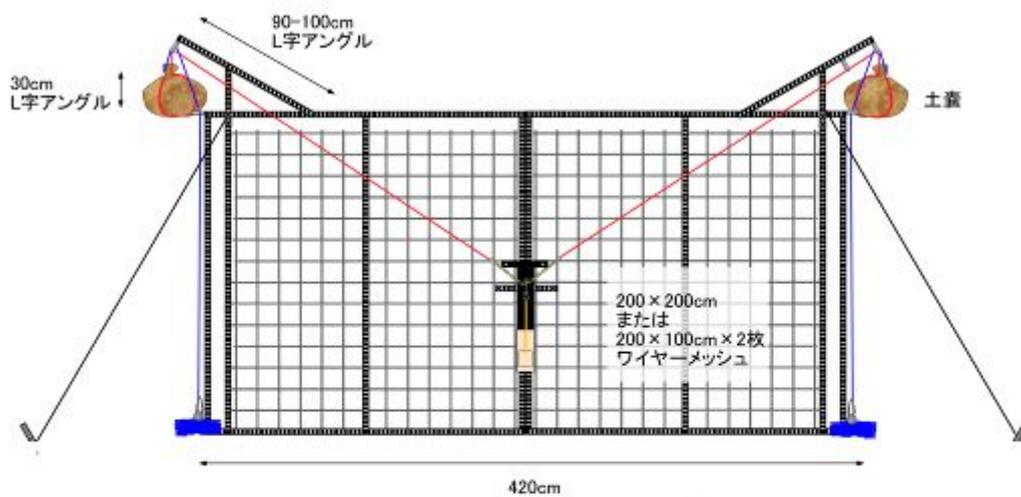
## わなの設置

囲いわなの設置の際には以下の点に注意する。

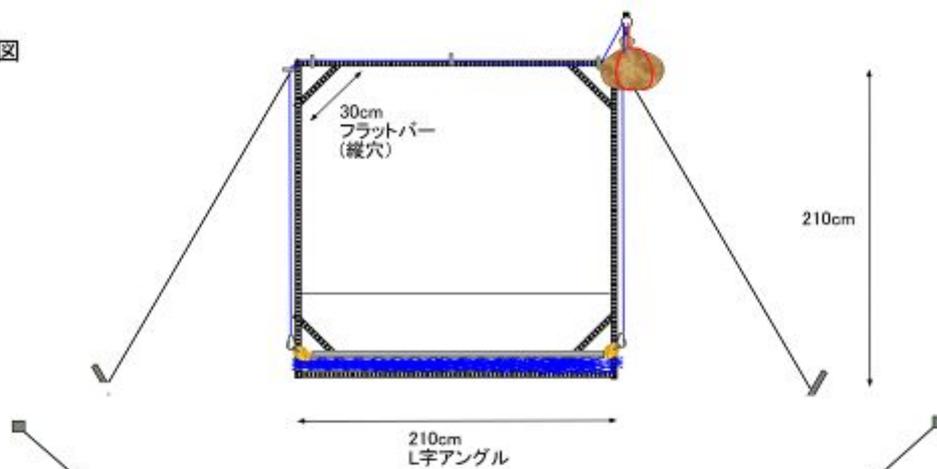
- わなの入り口の方向は、元から存在するシカ道の方向に合わせ、シカが抵抗なくわなの中に入ることができるようにする。
- わなの設置の際には、できるだけ元からある環境を変化させないようにする。例えば、下草が茂っている場合は、誘引餌を配置する部分と、センサーカメラの撮影範囲を除いて、他の部分は刈り取りを行わないようにする。
- 悪天候時にわなの設置作業を行うと、わなの設置作業の影響で地面が泥状にぬかるんでしまうことがある。シカに対する影響は不明であるが、誘引餌の管理上、泥状になった地面は不都合である。悪天候時は作業効率も悪いのでわなの設置はできるだけ晴天時に行う。

## 囲いわなの基本構造

側面図



正面図



上面図

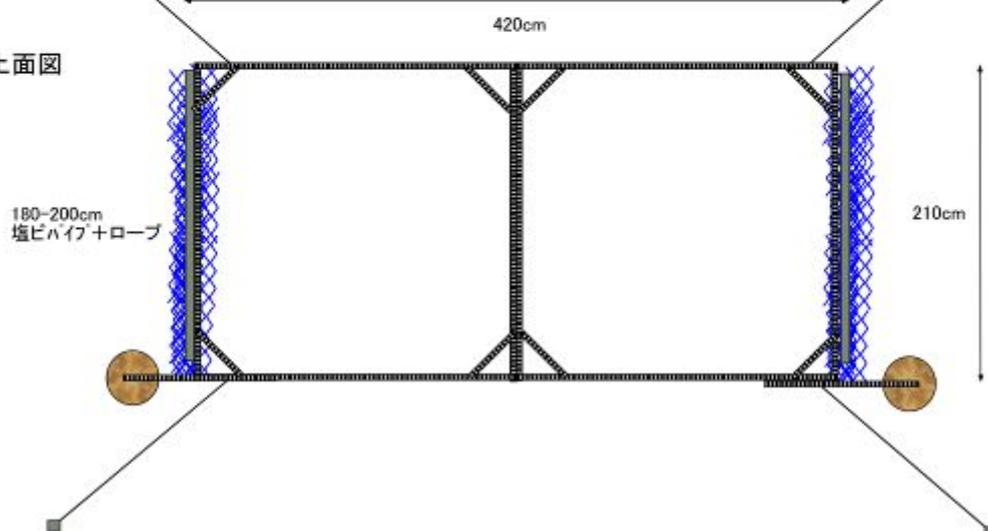
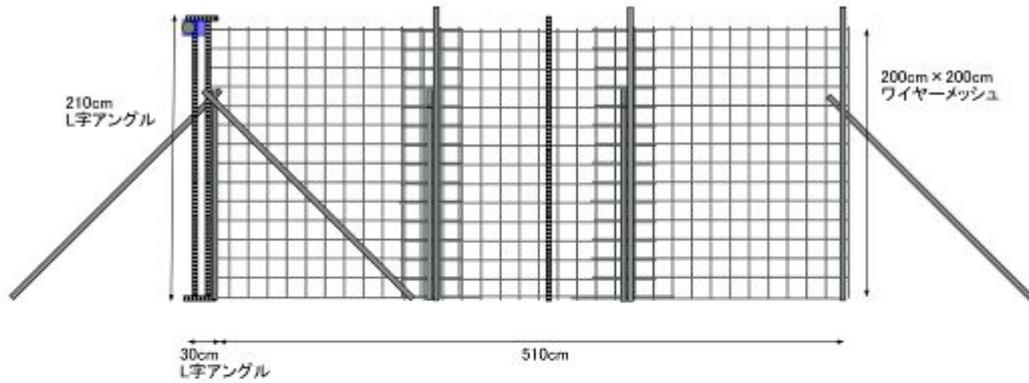


図9 中型囲いわな（引き上げ式ゲート）

側面図



上面図

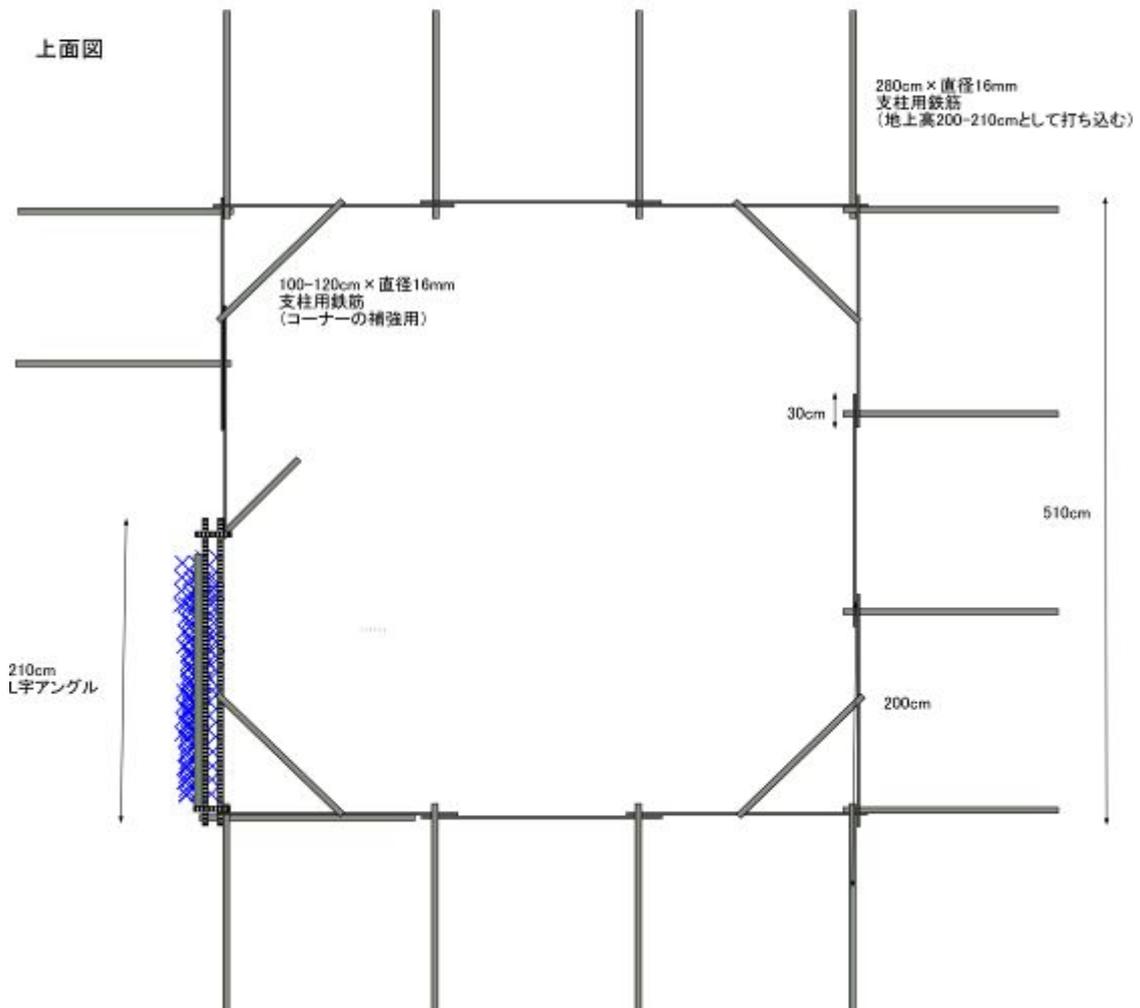


図 10 大型囲いわな

大型囲いわなのゲート部は、引き上げ式から落下式（ネットまたは板材）に変更した。  
（本図では構造は明記していないが、引き上げ式の構造は中型囲いわなと同じである）

## 囲いいわなの設置工程（中型囲いいわな 引き上げゲート式）

本事業で制作したわなは地域で入手可能な資材を用い，制作者の利便性に応じて構造を変えることを想定している．部品は類似のものが一般に広く販売されるが，恒常的に同一仕様の製品が入手できる保証はない．そのため，設置工程については基本のみを示した．

### 1) 側面フレームの制作

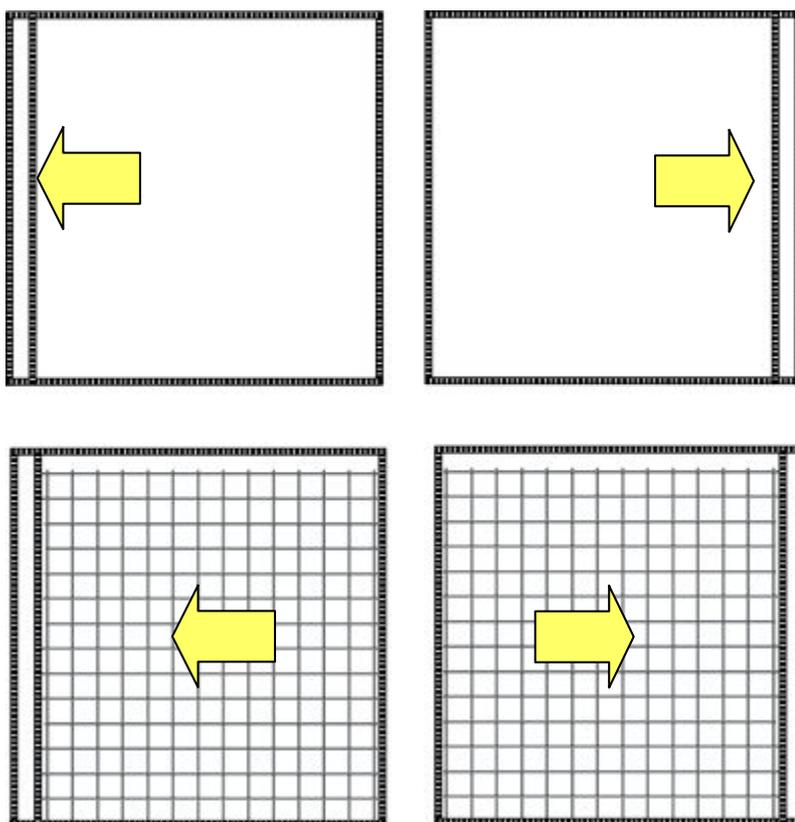
L字アングルを四角に組み，ゲート側に約10cmの間隔を開けて縦に1本のL字アングルを追加する( )．

(これを左右各2面作る．L字アングルの向きは，以下に合わせる)



### 2) ワイヤーマッシュの固定

ワイヤーマッシュをアングルの枠にはめて固定する( )．



### 3) L字アングルを使ってフレームを左右から起こす．

起こす際に使用するL字アングルは，後に側面の補強用に用いる．メッシュとL字アングルの締め付けは緩めに行い，しっかりと立ち上がってから締め上げるのがよい



4) 上下にL字アングルを入れて立方体にする。



5) 立方体を二つ組み合わせてわなの本体を完成させる。

地面が平坦でない場合は、地面に合わせて全体を变形させる必要があるため、ボルトの締め付けは5)で行う。先に締めてしまうと一部が浮き上がってしまうおそれがある。

6) コーナーに補強金具(コーナーパッチ)を入れる。立方体の接合部の3面と、ゲート入口面上部2面、下部1面に筋交いのフラットバーを入れる( )

7) 各立方体の側面中央部にL字アングルを出っ張りが外側を向くように固定する。( )

